

# 熊小だより

令和6年12月25日(水)  
No. 524

発行者 校長 山川 晃司



## 第2学期終了！！ 今日から楽しい冬休み

87日間あった長い2学期が昨日で終わり、今日から1月7日(火)までの14日間、「冬休み」となります。

昨日行われた終業式では、3年生の児童が、全校生を代表して2学期の反省と冬休みの抱負を堂々と述べました。



また、校長からは2学期の子ども達のがんばりを称賛するとともに、今後のがんばってほしいこととして、次のような話をしました。

### 「自分の未来の土台」を作る

～前略～ 2学期の初めの日、みなさんに「ままでに」という言葉を紹介しました。この言葉には、「ていねいに」とか「心をこめて」とかいうすばらしい意味があって、みんなにこの長い2学期の学習や学校生活に「ままでに取り組んでほしい」というお話をしました。

この2学期の間、担任の先生を通して、みんなが「ままでに」という言葉を使ってがんばっているというお話を聞いて、うれしく思うことが何度かありました。また、校長先生から見ても、みんなが学習発表会を始めとするいろいろな行事、そして毎日の勉強や運動に「ままでに」取り組んでいる姿を見てすばらしいなあと感じることがたくさんありました。熊倉小学校のみなさんにとって、すばらしい2学期でしたね。

話は変わりますが、今、校長室の窓からは、新しい村役場を作る工事の様子を毎日見ることができます。大きな機械で地面を深く掘って、建物の支えとなるコンクリートを流し込んだり、クレーン車でとても太くて大きな柱をつり上げて組み立てたりしている様子を見ると、頑丈な建物を作るためには、しっかりとした土台や柱がとても大切ということが分かりました。

この2学期、そんな工事の様子と熊倉小学校の皆さんのことを重ねて考えることが度々ありました。例えば、毎日少しずつできあがっていく新しい村役場の建物を見ながら、毎日みなさんが学校でがんばっている勉強や運動は、みなさんが立派な大人になるための土台や柱となる「心」や「力」を身に付けていることなんだなと思ったことなどです。

今、新しい役場の土台作りのお仕事をしている人は、1日たりともいい加減なお仕事をして



いません。1日でもそんなことをしたら、できあがった建物がすぐ壊れてしまうような建物になってしまいますものね。

皆さんも、今、学校で「自分の未来の土台」をしっかりと作るための大切な時間を過ごしています。だから、自分の未来がすばらしいものになるように、これからも1日1日の学校生活を大切にしてほしいと思います。そのためにも「ままでに」という言葉をこれからも大切にしてほしいなと思っています。

～後略～

保護者の皆様・地域の皆様には、この2学期も学校教育活動に対して多大なるご支援・ご協力を賜りましたこと、深く御礼申し上げます。

## 熊倉小学校アートギャラリー



現在、熊倉小学校前の道路を挟んだ向かい側で行われている役場新庁舎建設現場の周りに、工事用のフェンスが立っています。そのフェンスに、校内絵をかく会で作成した本校全児童の作品をプリントパネルにして掲示していただきました。

作品は、工事用フェンスが撤去されるまで掲示していただく予定です。お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。

冬休み中、緊急に連絡が必要な場合は、以下のようにお願いします。

○平日の8:10～16:40

職員が勤務していますので、学校へ連絡をお願いします。

### 熊倉小学校 25-2438

○平日の8:10以前、16:40以降

○週休日、年末・年始の休日(12/28～1/5)

学校に職員がいませんので、西郷村役場に電話をして、教育委員会に繋いでいただくようお願いください。

西郷村役場 25-1111 (代表)